

平成29年度行政評価シート【個表】

平成 29 年 6 月 22 日

評価対象事業		評価者	スポーツ課長	江口達也	
市民-31	実施事業	各種スポーツ行事事業	■ 自治事務	主管課	スポーツ課
			□ 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	スポーツ・レクリエーション	施策の方針	市民スポーツ・レクリエーションの推進	

1 事業の目的

対象	市民等
意図	身近なところで、自主的に、気軽に楽しむことができるスポーツの振興を図るとともに、指導者の養成と資質向上を図るため。
効果	市民のスポーツ・レクリエーションの推進やスポーツ・レクリエーション活動の支援を図る。

2 平成28年度に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> <li>市民向けのスポーツ行事を開催するとともに、スポーツ指導者の育成などを行い、地域に根ざすスポーツの促進を図った。</li> <li>市民の体力・健康づくりや介護予防の促進、地域コミュニティの活性化を図った。</li> <li>市民スポーツ大会や初心者向けの教室を開催し、競技者の裾野を広げるとともに市民の競技力向上を図った。</li> <li>子ども達を対象として、トップアスリート等から実技指導を受ける機会を提供し、ジュニアアスリートの育成を図った。</li> <li>リオデジャネイロオリンピック・パラリンピック大会に出場した本市出身の選手を広く紹介するとともに、オリンピックやトップアスリートとの交流を図る機会を提供し、市民のオリンピック・パラリンピックやスポーツに対する機運の醸成に努めた。</li> </ul>
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	27年度決算		28年度決算		29年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	177,243人	80,676世帯	176,869人	80,928世帯	176,466人	81,150世帯	・各年3月31日 (住民基本台帳)
事業の対象者数							
事業の対象者数							
運営資源状況	決算値(千円)	6,299	6,688	当初予算(千円)	14,316		
	国県支出金			国県支出金	4,829		
	地方債			地方債			
	その他			その他			
	一般財源	6,299	6,688	一般財源	9,487		
事業経費運営	人員配置数	1.0	1.0	人員配置数	1.0		
	人件費(千円)	7,700	7,615	人件費(千円)	7,895		
	総事業費(千円)	13,999	14,303	総事業費(千円)	22,211		
	市民1人当りの経費(円)	79	81	市民1人当りの経費(円)	126		
対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)				

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	2. 統合に向けた検討は可能
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-2. 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	○-2. 既に市民等と協働して適切に事業を実施している 協働実施済の場合のパートナー 体育協会、スポーツ推進委員、地区スポーツ振興会
事業内容の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →	見直し類の <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他 見直し類の オリンピック関連事業として、ジュニアアスリート育成事業の充実、障害者スポーツの普及、オリンピック・パラリンピックの機運の醸成に注力する 事業へ統合
予算規模の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 事業実施にかかる施設使用料、指導員の派遣及び普及啓発用パネルの作成の費用等を増額した。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	地域におけるスポーツの振興や競技スポーツの向上を図り、市民のスポーツ実施率の向上を目指すとともに、市民ニーズに対応した各種教室やイベントの更なる充実を図る。 東京オリンピック・パラリンピックの開催に向け、機運を醸成し市民のスポーツ振興につなげるとともに、ジュニア世代を対象に教室を開催し市民の競技力向上を図る。	

平成28年度事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々なイベント・教室等を行っているが、各協会やスポーツ推進委員、地区スポーツ振興会などの地域との連携を図りながら、今後とも市民のスポーツ実施率60%を目指す必要がある。</li> <li>指定管理者等との連携により民間のノウハウを活用しながら市民ニーズに対応した各種教室の更なる充実を図る必要がある。</li> <li>市民のスポーツ実施率の向上を実現するため「スポーツ活動の振興」を目標とし、市が取り組むべき施策として「あらゆる市民のスポーツ」、「子どものスポーツ」、「高齢者のスポーツ」、「競技スポーツ」を推進する必要がある。</li> <li>イベントや教室の参加者数に偏りが見られるため、周知方法を見直す必要がある。</li> <li>東京オリンピック・パラリンピックに向けた競技力の向上に資する事業の開催には競技団体との連携が不可欠である。</li> </ul>	
課題解決のために行った平成28年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々なイベント・教室等を行い、各協会やスポーツ推進委員、地区スポーツ振興会などの地域との連携や指定管理者のノウハウを活用しながら、市民ニーズに対応した事業を行った。</li> <li>イベント・教室等の開催に当たっては、多くの市民に情報を提供するため、HP、SNSによる周知を行った。</li> <li>東京オリンピック・パラリンピックに向けた競技力向上のための教室はソフトテニスをはじめ3種目について、競技団体との連携を図り、次年度以降の継続化に繋げた。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>東京オリンピック・パラリンピックに向けた競技力向上に資する事業を競技団体と連携を図りながらより充実する必要がある。</li> <li>障害者スポーツの推進に向け、イベントの実施に向けて関係団体等と調整を更に図る必要がある。</li> </ul>	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	県民スポーツ週間(10月日～日)でのスポーツイベント開催数								
団体名	鎌倉市								
他市実績	集計中								

比較事項	リオデジャネイロオリンピック・パラリンピックへの出場者数(市内在住、在勤、在学の他、本市にゆかりのある選手)								
団体名	鎌倉市								
他市実績	4人								

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	<p>かながわ駅伝は、競技団体により代表選手の選考、強化練習を行い出場する大会であるため、本市の競技力を量る上で参考となる。近年10位前後で安定しており、小学生や中学生を対象にした陸上競技教室等の成果が現れているものと推測できる。</p>
----------------------	---

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	スポーツ・レクリエーションフェア参加人数						単位	人	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
年齢・経験・運動能力を問わないニュースポーツやレクリエーションの普及状況の把握に繋がるため	目標値	500	500	500	500	500	500				
	実績値	321	295	343							
	達成率	64.2%	59.0%	68.6%							

指標の内容	地区スポーツ振興会協議会スポーツ行事参加参加人数						単位	人	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
地区スポーツ・レクリエーション活動の活性化の状況を把握するため	目標値	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000				
	実績値	53,714	57,590	46,777							
	達成率	89.5%	96.0%	78.0%							

指標の内容	健康ウォーク参加人数						単位	人	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
健康づくりやスポーツに取り組むきっかけづくりに繋がる健康ウォーク「歩け鎌倉」の充実を図るため	目標値	400	400	400	400	400	400				
	実績値	52	112	133							
	達成率	0.0%	28.0%	33.3%							

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	<p>参加者数が横ばいである状況は、周知方法や企画見直す必要があると考えられる。周知方法はHP、SNSだけではなくわかりやすいチラシ、ポスターの配布や掲示方法の検討も求められている。企画についてはより多くの市民が参加できる内容が求められていることが考えられるため、ニーズを把握し対応していく。</p>
-----------------------	--